

音楽の楽しさを体験

東京フィルが富浦小で演奏会

本物の舞台芸術に触れ、親しむ機会を提供しようと文化庁が開催する「本物の舞台芸術体験事業」が、2月13日に富浦小で開かれました。当日は東京フィルハーモニー交響楽団が訪れ、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」前奏曲やチャイコフスキー作曲の組曲「白鳥の湖」から「情景」などを演奏。その後、オーケストラで使われる楽器を紹介したり、子どもたちが手足でリズムを取りオーケストラの演奏と共演したり、さらには指揮者体験をするなど、楽しみながら音楽の素晴らしさを学びました。



ゆめ半島千葉国体

旭市準備委員会を設立



3年後の平成22年、千葉県で「ゆめ半島千葉国体(第65回国民体育大会)」が開催される予定です。旭市では、総合体育館を会場に卓球競技を開催します。そのために2月7日に「ゆめ半島千葉国体旭市準備委員会」を設立し、総合体育館で第1回目の総会を開催しました。今後、国体の開催に向けて準備を進めていきます。

ひとり暮らしのお年寄りを訪問

「寄り道ボランティア」

富浦小学校の5、6年生が、学校の帰りに寄り道をしてひとり暮らしのお年寄りの家を訪問する「寄り道ボランティア」を、1月29日に行いました。子どもたちから鉢植えの花とメッセージを受け取ったお年寄りは、昔の学校や遊びのことを子どもたちにうれしそうに話していました。



▲メッセージを手渡す子どもたち

新しい地区の交流の場が完成

八軒町区コミュニティセンター

老朽化していた青年館にかわって、建設が進められていた旭地域の八軒町区コミュニティセンターが完成しました。高齢者や車いすの方などが利用しやすいように、玄関にスロープを設け、トイレには手すりを設置するなど、バリアフリーに配慮したつくりになっています。

